



# 小人の饗宴

ヴェルナー・ヘルツォーク監督作品

パンドラ配給

# 傀儡師・ヘルツォーク 唐十郎

冷えきった溶岩に囲まれた収容所施設で、とある日開放された人々の宴が、白昼96分とつづく。  
 母豚の乳に喰らいつく子豚を、棒で突っつき、納屋に収まるワゴン車を引っ張り出すと、逆時計回りに果てしなく周回させる。双生児にみえる盲目の男たちの聴覚を、回る車のエンジン音で混乱させると、共に振り回す棒で叩きつけて、饗宴の音は、尽きることはない。  
 砂埃りが舞って、その中を駆け抜ける男女が、今、なんの喜びに憑かれてはしゃぐのかは、判断としないのだが、手当りしだい、やりほうだいに、タブーを壊す。所長が留守した東の間のことらしく、監理室には、所長の代理が、外の騒ぎに怯えてたたずむ。その前には、縄をかけられた一人の収容者が、物言わずほくそ笑む。どうやら騒ぎは、隔離されたその男の取り扱いをめぐって起きたかのようなのだが、饗宴の加速度は、もはや、そのきっかけさえ振り返る間もなく、暴走していく。登場する人々は、皆、並の人よりも背が低く、タイトルも『小人の饗宴』ということになっているが、生理的に寸足らずの彼らが、この幽閉状態で、特殊な暴発をしてかしたとみるのは誤っている。ここに、ヴェルナー・ヘルツォークの傀儡師たる手品がある。ここに現われる小人は、等身大の人々を、あえて屈折してみせたばかりのことであり、この映画を小人ゆえに起こす珍騒動と観る客を、ヘルツォークは嘲笑い見守っている。そして、映画の終章に近づきながら、ヘルツォークとともに我らが首を傾げる問題は、〈饗宴のその場所がどこか?〉という一点であろう。  
 そこが、我らの身边周囲ということに気づいた時、この映画は、恐ろしい〈癒し〉の本木ということになる。(からじゅうろう 劇作家 小説家 劇団劇主宰)



ヴェルナー・ヘルツォーク Werner Herzog 監督  
 1942年、ミュンヘンに生まれ、少年時代をバイエルンの農園で過ごす。大学で歴史、文学、演劇学を専攻。留学したピッツバーグでは追放処分をうけたり、メキシコで密輸をしたりと若い頃から、彼にはエピソードが多い。  
 64年、カール・マイヤー賞を受賞した自筆脚本『狼煙』をもとに、長編第一作として発表した『生の証明』(68年)で、ドイツ連邦映画賞を受賞し一躍注目を浴びる。世界的に知られる性格派俳優クラウス・キンスキーを起用した『アギーレ・神の怒り』(72年)で、興行的ヒットも成し遂げ、名実ともにニュージャーマン・シネマを強力に牽引する監督として、内外に知られるようになった。『カスパー・ハウザーの謎』(74年)でカンヌ国際映画祭審査員特別賞、『フィツカルルド』(82年)で同映画祭監督賞などと、爆然たる受賞を重ねた。以後、ジャンルや手法を越えて、意欲的に新作を発表。90年代にはオヘアの演出を手掛け、映画からは距離をおいていたが、クラウス・キンスキーとの長年に渡る交流をテーマにした『キンスキー、我が最愛の敵』を99年に発表し、世界中の観客を改めて魅了した。現在、30年代のベルリンを舞台にしてティム・ロスを起用した新作『Invincible』を、ミュンヘンで製作中である。

## 完成後30年を経て、いま初めて劇場公開される〈挑発〉の問題作!!

小人の饗宴 監督・脚本●ヴェルナー・ヘルツォーク 撮影●トーマス・マオホ 編集●ベアータ・メインカ=イェリク・バウス 録音●ヘルベルト・ブラッシュ  
 音楽●フロリアン・フリッケ 出演●ヘルムート・テリング バル・クラウアー © Werner Herzog Filmproduktion 日本版字幕●岩淵達治  
 1970年/ドイツ/96分/モノクロ/35mm/1:1.33/モノラル 配給●パンドラ ☎03-3555-3987 <http://www.pan-dora.co.jp/>

## 1月13日(土)より“狂気”のロードショー

特別鑑賞券 ¥1400 好評発売中!

特別鑑賞券は劇場窓口、都内プレイガイド、チケットぴあにてお求め下さい  
 上記4作品いずれか1本に使用可 チケットぴあは各作品別  
 当日料金:一般 ¥1700 学生 ¥1400 ※回数券あり

上映時間 12:45 2:50 4:55 7:00

BOX 東中野 地下鉄丸の内線 東中野駅 徒歩5分  
 ☎03(5389)6780 [www.mmjp.or.jp/BOX](http://www.mmjp.or.jp/BOX)

## ヘルツォークに狂う——陶酔の映画世界!

『キンスキー、我が最愛の敵』公開を皮切りに、いま、世界中の若者のカリスマ的監督ハーモニー・コリンが最も尊敬しているヴェルナー・ヘルツォークの代表作を連続上映!! めくるめくような12連!!

第一弾『キンスキー、我が最愛の敵』\* 第二弾『小人の饗宴』\*  
 第三弾『アギーレ・神の怒り』● 第四弾『フィツカルルド』● (\*配給:パンドラ ●配給:ケイブル・オーグ)

書籍『ヘルツォークに狂う』(飯沼/パンドラ刊) 11月下旬発行予定  
 緊急発売! 2001年カレンダー「Filme von Werner Herzog」10月下旬発売予定  
 Tシャツ「Kinski」(Grandcanyon発売)、特別鑑賞券とセットで ¥7200 (税込)